

読売新聞 きょう（8月4日）のイチ押し

一面など 米下院議長 台湾との団結を強調

ナンシー・ペロシ米下院議長は3日、訪問先の台北で蔡英文総統と会談しました。米国の台湾に対する揺るぎない支持を表明し、中国の脅威に直面する台湾との連携を強化する意向を示しました。

- ★蔡氏は会談で「台湾海峡の安全は世界の焦点。台湾が侵略を受ければ、インド太平洋の衝撃となる。台湾は軍事的脅威に屈しない。台湾は民主主義を守り、世界の民主主義国家と協力する」と訴えました。
- ★中国はペロシ氏の訪台に反発し、射撃訓練や軍事演習で圧力を強める構えで、緊張が高まっています。王毅外相は談話で「(米国は)公然と政治的挑発を行い、中国国民の強い憤慨を引き起こした」と非難しました。

社会面 選挙 ふれ合いか安全か

安倍元首相が参院選の応援演説中に銃撃されて死亡した事件で、選挙運動中の警護の難しさが指摘されています。有権者らとのふれ合いを重視する候補者陣営側と、安全確保のため少しでも要人らに人を近づけたくない警察側の意向が相反するためです。

要人の警護では、制服を着た警察官やパトカーを複数配置する「見せる警備」が有効とされます。しかし、選挙では「物々しい雰囲気が出てしまう」（ある陣営関係者）ため敬遠される傾向にあり、今回の現場でも、安倍氏の近くに制服警察官は配置されていませんでした。

事件後、警察庁は検証チームを設け、警護・警備上の問題点を洗い出す作業を進めています。8月中に検証結果を取りまとめ、公表する予定です。

他紙と比べて

直木賞作家の今村翔吾さんが読者と語り合う「よみうり読書サロン 今村翔吾夏の陣」が先月、読売新聞大阪本社で開かれました。今村さんは、本紙朝刊（6月12日付）掲載の書き下ろし掌編小説「葛籠（つづら）」や、ワゴン車で全国の書店や学校を巡る活動「まつり旅」などについて、会場からの質問に熱っぽく答えました。きょう朝刊の特集面で、当日のやりとりを詳しく紹介しています。特集では、サロンの模様をまとめた映像の「見逃し配信」の申し込み方法もお知らせしています。